

令和4年度 読書活動推進へ向けた取組

1. 学校の概要

- ①所在地:福島県郡山市菜根5丁目6番7号
- ②学級数:20 学級・生徒数 786 名(令和4年5月1日現在)
- ③学校図書館の蔵書数:35,640 冊(令和4年4月1日現在)

2. 読書活動推進の取組

(1)生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取り組み

①新着図書の掲示

生徒昇降口や図書館がある棟の掲示板に、新着図書の表紙のコピーを掲示して、どんな本が入っているのかを周知するようにしている。



一緒に図書館からのメッセージをキャッチコピーにして伝えている。

- ・「1日 15 分、読書タイムを！」
- ・「今年の夏は、何を読む？」
- ・「読書の秋にしよう！」

また、図書館用品埼玉福祉会の「無料イラストダウンロード」を利用させていただき、公式キャラクターぷく太のイラストをつけるなど、+αで親しみやすくしている。

②コーナーの設置

常設には、「新着図書」「映像化作品の原作&関連本」「進路について考えよう」「就活・受験・小論文」「SDGs」「本を紹介する本～ブックガイド～」 「感染症 新型コロナウイルス」「ミニミニ美術館 角川文庫×文豪ストレイドッグス」のコーナーがある。また、「本屋大賞候補作」「サッカーW 杯」「クリスマスの本」などの季節や話題に合わせた展示の他に、「5月病対策に」「教育実習生のおすすめ本」「心に残った本～高校生の読書アンケートより～」などのコーナーを設置した。図書館にどんな本があるのかを伝え、幅広い本に興味を持ってもらうきっかけをつくるよう心掛けている。



③図書委員によるおすすめ本の紹介(POP)

図書委員の活動の1つとしてPOPの作成を行っており、入口からカウンターまでの動線に「図書委員のおすすめ本」を展示している。

貸出になっている場合は、「ただ今、貸出中です」の表示をつけて利用者に知らせるとともに、図書委員のモチベーションアップにつながるようにしている。



図書委員作成〈仕掛けのあるPOP〉

④館内整備・利用方法の改善

・消えて見えなくなった背ラベルの貼り替えを図書委員とともに進めている。本を探しやすくするために、タイトルだけでは分からないシリーズも巻数を入れるなど確認しながら請求記号を決めている。

(2)学校における読書を通した読書習慣の定着を図る取組

①図書館だよりの発行

月に一度、図書館だよりを発行して図書委員のおすすめの本や新しく買った本を紹介し、読書への興味を喚起するようにしている。

(3)読書活動の質の向上へ向けた取組

①図書館オリエンテーション

4月に行っている新入生対象の図書館オリエンテーションのなかで、短い時間でも読む習慣を持つことと高校時代の読書の記録を書くことを勧めている。

②授業でのビブリオバトル

1学年の国語では2学期に各クラスでビブリオバトルに取り組んだ。お互いに本を紹介し合うことで、本への興味を喚起することができた。

③授業関連図書の購入・展示・紹介

教科書で取り上げた単元の理解を深めるために、関連図書を図書館に入れるようにしている。

また、今年度は保健講話で1・2年生がLGBTQについて学ぶ機会に合わせ、養護教諭から関連図書の貸出の相談があり、当日会場で展示した。後日、図書館でも展示し、図書館だよりで紹介した。

④「新聞記事と本を一緒に読もう」コーナー

試行として、身近なニュースの新聞記事と深く知り考えるための新聞記事を取り上げ、関連する雑誌記事と図書をまとめて展示した。1つのテーマについて、知識・思考・興味を広げたり深めたりするために、複数の資料・情報を活用することを提示できればと考えている。

(4)その他、読書活動推進へ向けた取組

①リクエスト・レファレンス対応

本校にない図書についてリクエストやレファレンスがあった場合はできる限り購入しているが、購入できない場合も県立図書館や郡山市図書館、高校図書館から借りて提供するように努めている。

②福島県南高等学校図書館研究会でのPOPの交換

今年度は、各校で作成したPOP2枚分のカラーコピーを交換して掲示した。他校で読まれている本を知ることができ、またPOPに独自の工夫があって、図書委員も刺激を受ける楽しい掲示となった。